

登録コード	UA111502	開講年度	2026				
授業題目	解析手法論（経済学分野）					担当教員	矢部 竜太 他
						副担当	増原 宏明
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・6時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社、2 5 UAカリ・総人社、2 3 UAカリ・総人社・人間文化学、2 3 UAカリ・総人社・法学						
	【研究科共通】量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。				様々な量的解析方法を具体的事例を織り交ぜて学び、具体的課題に基づいた分析方法を用いることができるようになる。		
	【研究科共通】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				質的解析方法も視野に入れながら、量的解析方法を具体的事例を織り交ぜて学び、応用力、俯瞰力を用いることができるようになる。		
(2)授業の概要	解くべき課題の本質を理解し、その解決方法を見出だすためには、現象の正確かつ詳細な観察と分析が先ず必要である。当該授業は、量的解析方法と質的解析方法双方を、具体的事例を織り交ぜて学びながら、諸分野での解析方法の基礎的方法と応用を学ぶ。併せて、諸解析方法の特徴・問題・限界なども理解することを目指す。本授業では人文・社会科学全分野の研究力を支えるのに不可欠な基礎的な能力（分析力）を身につけるため、量的解析方法として重要な統計学の基礎を学ぶとともに、統計的手法だけでは捉えきれない質的問題を扱う解析方法も併せて学修する。遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したりリアルタイムオンライン授業とする。ZoomのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせする。						
(3)授業計画	第1回 授業ガイダンス、記述統計（矢部竜太） 第2回 記述統計（矢部竜太） 第3回 記述統計（矢部竜太） 第4回 推測統計（矢部竜太） 第5回 推測統計（矢部竜太） 第6回 実験計画法（矢部竜太） 第7回 実験計画法（矢部竜太） 第8回 検定（増原宏明） 第9回 実例を用いた検定の演習（増原宏明） 第10回 回帰分析（増原宏明） 第11回 Rを用いた回帰分析（増原宏明） 第12回 pythonを用いた回帰分析（増原宏明） 第13回 stataを用いた回帰分析（増原宏明） 第14回 実例を回帰分析の応用（増原宏明） 定期試験は行わない。 レポート課題の出題時期や提出期限等については初回ガイダンス又はeALPSにおいて適宜周知する。						
(4)成績評価の方法	出席は前提。各回に課す課題ごとの評価（50％）と最終レポートの到達目標への到達度の評価（50％）の総計で評価する。 90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可と評価する。59点以下の場合は単位認定しない。						
(5)成績評価の基準	「分析力」 ・例示された社会課題の要因について、他分野を含め、各領域独特の解析手法を理解して、分析できているか。 「応用力」 ・例示された他分野の社会課題の解決策について、自身の研究分野の解析手法を応用した提案がなされているか。 「俯瞰力」 ・例示された社会課題についての他分野の解析手法について、正確に理解した質問やコメントができているか。 ・例示された社会課題の解決策を、他分野の解析手法を含め、総合的に解決する方策を提案しているか。 これらの力について、極めて高い水準にあれば【卓越している】、非常に高い水準にあれば【かなり上にある】、高い水準にあれば【やや上にある】、一定水準にあれば【その水準にある】と判断する。						
(6)事前事後学習の内容	授業終了時に次の講義で扱う範囲を紹介し、予習すべき教科書もしくは参考書の範囲、その他事前学習の内容を指示する。						
(7)履修上の注意	・全員必修の授業科目である。 ・無断欠席・遅刻は厳禁。 ・止むを得ず欠席・遅刻する場合はメール等にて連絡すること。						
(8)質問、相談への対応	授業中に質問を受けつける時間を設けるとともに、オフィスアワーまたはアポイントメントによる面談で受講生からの質問に対応する。詳細は第一回目の授業ガイダンスで説明する。						
【教科書】	矢部担当分(第1回から第7回)については、改訂版 日本統計学会公式認定 統計検定3級対応 データの分析, 東京図書, 2020を用いる。各担当教員が独自に作成したプリントを配布する 他						
【参考書】	指定しない						